

学校目標 「やる気いっぱい やさしきいっぱい 元気いっぱい 蒔田っ子」



まいた

令和元年度

6月号

令和元年5月31日

「どきどきスポーツフェスティバル」 子どもたちのがんばりに感謝

校長 太田 正寿

<スローガン> 『**団結応援団 まいた MAX**』

蒔田っ子の願いが届き、晴天の中、保護者の皆様、地域の皆様、PTA各委員の皆様、本校卒業生の皆様のお力添えのおかげで、「どきどきスポーツフェスティバル(運動会)」を無事に開催することができました。本当にありがとうございました。暑さ厳しい中、最後までたくさんの皆様に見守っていただいたこと、そして、心温まるご声援をいただいたことに厚く感謝申し上げます。今回は想定外の暑さとなり、子どもたちの体調管理を第一に考え、皆様が楽しみにしていた「PTA綱引き」や「未就学児レース」のプログラムをカットしたり、水分補給の時間を確保するため途中休憩を入れたりするなどの対応があり、ご迷惑をかけたり、十分な配慮が行き届かなかつたりしたこともあったと思いますが、子どもたちのがんばりと、皆様方の多大なるご協力を得ながら、何とか無事終えることができました。本当に心からお礼申し上げます。

さて、どきスポ(運動会)における蒔田っ子一人ひとりの姿は、いかがでしたでしょうか？輝いていたでしょうか？

子どもたち一人ひとりのがんばり、そして各学年のチームワークは、皆様に届きましたでしょうか？

4月より、子どもたちは本番に向けて限られた時間の中で精一杯練習をし、自分たちでつくりあげるどきスポ(運動会)であることを意識し、真剣に正面から向き合い、練習のつらさや苦しさを克服していく経験をしてきました。当日までに様々な思いや葛藤を乗り越えながら、子どもたちも教職員も努力してまいりました。そして、練習を重ねる中で少しずつ上達し、仲間と共に力を合わせることの大切さを、身をもって感じ、友達の協力や支えがあったからこそできたという、達成感や連帯感を得ることができたのではないかと思います。

どきスポ(運動会)を大成功させる秘訣は、3つあるとも思っています。

★ チームワークを大切にすること ★ 元気な声で応援すること ★ 感謝の気持ちを伝えること

今年は白組が勝ちましたが、どきスポ(運動会)の「勝ち負け」というのは、得点で争うことは当然ありますが、「子どもたち一人ひとりがめあてに向かって、全力で演技や競技に取り組むことができたか？」「みんなと力を合わせてチームワークを発揮することができたか？」「友達、家族、先生方に、ありがとうの感謝の気持ちをもって取り組むことができたか？」等の見方で考えることも大切だと思っています。

5・6年生の「蒔田ソーラン2019『極』」の演技から湧き出る思いは、まさにそのことです。そして1年生から6年生のすべての表現演技に共通したことであり、他の演技・競技・応援も含めて、指導者である教師が、子どもたちにどきスポ(運動会)の取り組みを通して、一番経験してほしいことだと思います。また、閉会式での赤組団長・人見瑛菜さん、白組団長・田上侑和さんのあいさつの言葉に、今回のどきスポ(運動会)のすばらしさや子どもたちのがんばり、感謝の気持ちが集約されていたのではないのでしょうか。

子どもたちが今回のどきスポ(運動会)を通して学んだことを、今後の学校生活や日常生活につなげ生かしていき、一歩成長した姿をお見せできるよう、今後とも全力で指導してまいりますので、ご支援・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

最後に、私たち教職員一同、子どもたちへ感謝の言葉を伝えたいと思います。「本当にありがとう！」

